自動車事故による
重度脊髄損傷者専門病床
のご案内

全国4病院で
入院希望者募集中

独立行政法人自動車事故対策機構（ナスバ）のご紹介

私たちナスバは自動車事故対策の専門機関です。

ナスバは、3つの業務を一体的に実施しています。

- 自動車事故被害者を「支える」
- 自動車事故を「防ぐ」
- 自動車事故から「守る」

名　称	独立行政法人自動車事故対策機構（ナスバ）
設　立	平成15年10月1日
	（前身：自動車事故対策センター　昭和48年設立）
組　織	本部：東京
	支所等：全国50箇所
	療護施設：療護センター4箇所
	委託病床8箇所
	脊損モデル病床4箇所
役職員数	369名
事 業 費	146億円（令和6年度予算）

機構HP

NASVA（ナスバ）とは

独立行政法人自動車事故対策機構の英文名（National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid）の略称で、「ナスバ」と発音します。シンボルマークの背景には白いラインでNASVAのNを表しています。

また、AとVから光が広がる様子は、人々の未来が明るく、光に満ちた希望あふれるものであるように、というナスバの願いが込められています。

50th anniversary

ナスバは、令和5年12月をもって、おかげさまで設立50周年を迎えました

機構ホームページはこちら　https://www.nasva.go.jp/

ナスバの自動車事故による重度脊髄損傷者専門病床とは？

事業内容

全国4病院の一部病床を活用し、入院患者の残存機能を活かすことを主眼に、ナスバ病床受託病院に蓄積された知見や技術を最大限活用し、在宅環境におけるADL向上等患者ごとの目標に応じた手厚い治療・看護・リハビリテーションを一体的に提供します。

なお、当該病床（ナスバ病床）は、国土交通省が行う重度脊髄損傷者受入環境整備事業（モデル事業）に基づく事業であり、各ナスバ病床受託病院には、医療の提供とともに、事業検証も含めご協力いただいております。

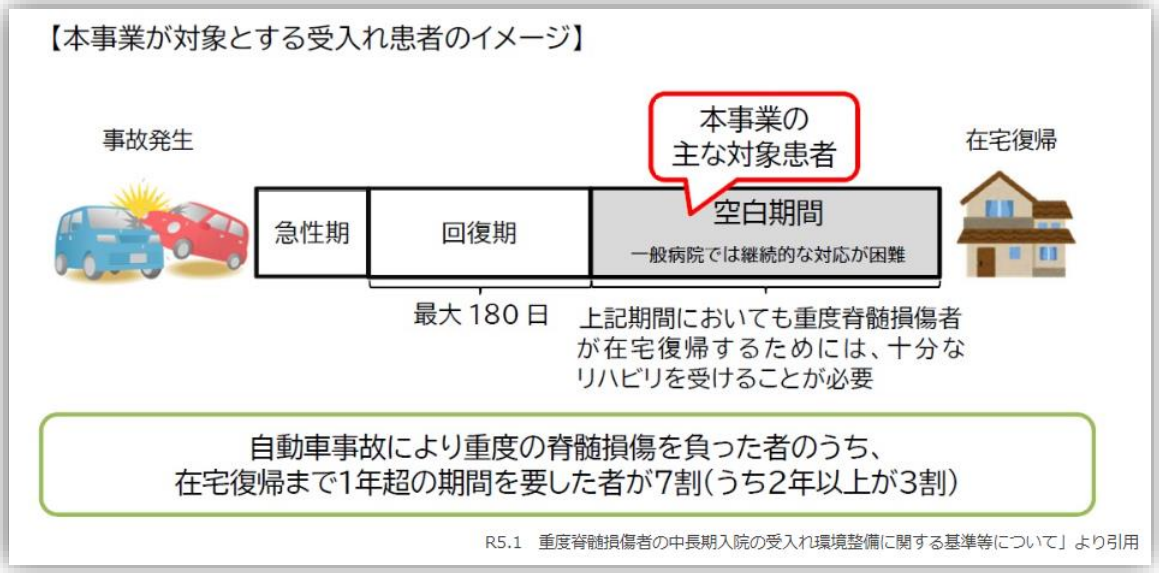
入院対象

① 自動車事故により脊髄を損傷し、急性期病院による治療が完了している等、リハビリテーションによる治療が可能な方

② 脊髄障害自立度評価法（Spinal Cord Independence Measure Version III：SCIM-III。以下「SCIM」。）による点数で20点以下※で治療及び常時介護が必要である方。

SCIMの20点以下

※個人差があるものの、概ね脊髄を損傷し生活全般において全介助が必要な方が該当

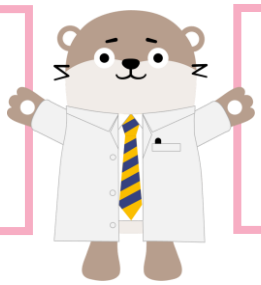


なお、入院にあたっては、事前に病院による入院審査があります。
入院を希望される方はナスバ病床受託病院にお気軽にお問い合わせください。

入院期間

概ね最大2年

※容態や状況に応じて入院期間は異なるため
2年間の入院を保障するものではありません。



保険

各種保険のほか
公的助成使用可能

※ 詳細は各ナスバ病床受託医病院へお問い合わせください。

https://www.nasva.go.jp/sasaeru/sekison.html

ナスバ病床の特徴とは？

ナスバ病床の特徴

① 手厚いリハビリテーション

常勤の整形外科医またはリハビリテーション科医の指示の下、残存機能の維持や強化、日常生活動作獲得等のため、状況に応じた十分なリハビリを提供。

- 関節可動域や筋力の維持・向上による残存機能の強化
- 入浴、移乗、排泄等の日常生活動作の獲得に向けた訓練
- スマートスピーカー等の生活環境制御装置やPC等の操作訓練　等

② 心理的ケアと退院後の生活を見据えたサポート

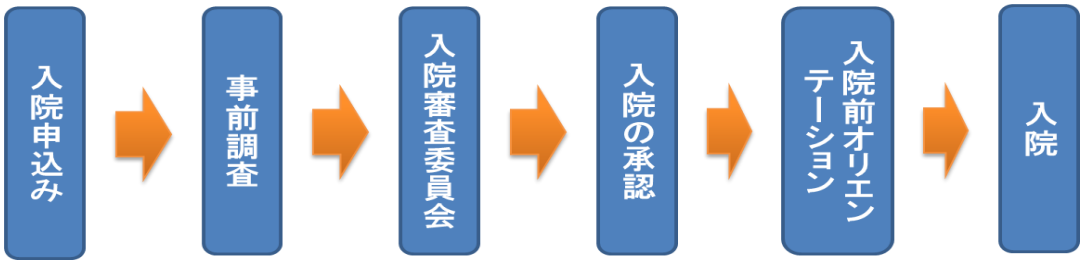
- 患者やその家族が抱える悩みや不安に応えるため、メディカルソーシャルワーカーを設置し相談体制の整備やピアカウンセリング等を活用しつつ患者や家族等の心理的なケアを提供。

- 退院後の生活を見据えた様々な支援として、地域の病院や障害福祉サービス等の活用可能な社会福祉サービスとの連携や行政手続きをサポート。

情熱を持った医療従事者が提供する医療環境において
積極的なリハビリテーションで皆様をサポートいたします。

入院までの流れや手続きについては次ページへ

入院までの流れや手続きについて



① 入院申込み

☞ 入院を希望する病院へ直接お問い合わせいただき、空床状況や入院申込方法等の確認をした上で、必要書類を病院へ提出ください。

② 事前調査

☞ 医師、看護師等が訪問等により、入院希望者の状態を確認いたします。

③ 入院審査委員会

☞ 入院希望者の状態が、入院の要件に該当するかどうか外部の有識者を含む入院審査委員会で審査を行います。

④ 入院の承認

☞ 入院の承認は、入院審査委員会や治療および介護の必要性、日常生活動作改善の可能性等を総合的に判断して行います。

☞ 入院が承認された場合、速やかに入院日の調整を行います。

⑤ 入院前オリエンテーション

☞ 入院患者やそのご家族等に対し、本事業の主旨や退院要件等について事前に説明させていただきます。

⑥ 入院

☞ 最大入院期間は、概ね2年間ですが、個々の状況により変動します。

【入院申込に必要な書類】

- 入院申込書
- 住民票の写し(世帯全員)
- 脊髄障害に関する医師の証明書(診断書等)
- 自動車事故を証明する書類(交通事故証明書等)
- 費用支払証明書(治療、介護等に関する費用の支払状況を証する書面)
- その他(病院独自の書類等)

ナスバ病床受託病院のご紹介

神奈川リハビリテーション病院

所 在 地:神奈川県厚木市七沢516番地
ベッド数:4床
電　　話:046-249-2222
担　　当:地域連携室　ナスバ事業担当
ＵＲＬ:https://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/

愛仁会リハビリテーション病院

所 在 地:大阪府高槻市白梅町5-7
ベッド数:4床
電　　話:072-683-0206
担　　当:地域医療部 ナスバ事業担当
ＵＲＬ:https://www.aijinkai.or.jp/reha/

聖マリアヘルスケアセンター

所 在 地:福岡県久留米市津福本町448-5
ベッド数:4床
電　　話:0942-35-5522
担　　当:地域医療介護連携室 小村
ＵＲＬ:https://www.st-mary-health.jp/

久留米リハビリテーション病院

所 在 地:福岡県久留米市山本町豊田1887
ベッド数:4床
電　　話:0942-43-8033
担　　当:地域連携室　ナスバ事業担当
ＵＲＬ:https://www.kurume-reha.or.jp/

入院の申し込みやお問い合わせは、こちらのページから

ナスバ病床受託病院のご紹介

Kanagawa Rehabilitation Hospital
神奈川リハビリテーション病院

病院データ

324床（一般・回復期Ⅰ・障害者）

診療科
内科、神経内科、小児科、小児神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科

多職種の支援　総合リハビリテーションの提供

脊髄損傷を熟知した医師、看護師、理学療法士、作業療法士、公認心理士、ソーシャルワーカーの他、他病院にない体育指導員、職業指導員、リハビリテーション工学エンジニアによる専門的支援を実施します。

脊髄損傷は褥瘡等の合併症のほか、排尿・排便機能や生殖機能の障害、自律神経の障害などさまざまな症状が現れるため、リハビリテーション科以外に整形外科や泌尿器科、内科、精神科など多くの診療科と連携し対応します。

脊髄損傷のリハビリ

体に障害が残ったとしても、色々な形で社会参加を目指す支援を行います。リハビリは必ずしも元の体に戻ることを目標にする訳ではありません。特に脊髄損傷の場合には完全に回復することは難しいため、失われたものを振り返るのではなく、残されている機能を利用していくことが重要です。
まずはご自宅で生活されることを目標にし、一通りの治療には対麻痺の方で２～３ヶ月、四肢麻痺の方で４～６ヶ月程度の入院により治療をすすめていきます。

社会参加

病院を退院後は、四肢麻痺の方でもご自分で車を運転したり、仕事や学校に復帰する方も多いです。対麻痺の方は、足で歩く代わりに車椅子を使うというだけで、普通に生活しスポーツなども楽しんでいます。ただ、損傷部位によっては自立がなかなか難しいこともあり、ご家族が適切な介護の方法を習得されることが必要となります。

問い合わせ先

〒243-0121　神奈川県厚木市七沢516番地
地域連携室　TEL:046－249－2222　FAX:046－249－2515
病院ホームページ➡　https://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/

交通案内

＜最寄り公共交通機関＞
・　小田急小田原線「本厚木駅」「愛甲石田駅」「伊勢原駅」からバス「神奈川リハビリ」下車

ナスバ病床受託病院のご紹介

社会医療法人 愛仁会 AIJINKAI REHABILITATION HOSPITAL
愛仁会リハビリテーション病院

病院データ

- ●診療科　リハビリテーション科、脳神経外科、整形外科、内科、循環器内科、小児科、精神科、皮膚科、歯科
- ●病床数　269床
  回復期リハ病棟215床、障がい者病棟54床
- ●職員数　医師20人（うち日本リハビリテーション医学会専門医11人）
  看護師210人、理学療法士104人、作業療法士81人、
  言語聴覚士33人、その他145人（R6.4.1現在）

豊富なマンパワーと充実の環境でリハビリテーションに対応

当院は豊富なマンパワーにより充実のリハビリ体制を整えています。また、リハビリテーションセンターは総面積1,300㎡と関西屈指の広さを有し、患者さま一人ひとりの症状に合わせ、リハビリを提供することができます。多職種が各々の専門性をかけ合わせながら、「再びその人らしい生活に」を目標にチーム医療を実践しています。

療養環境

明るく過ごしやすい環境の中で、リハビリに取り組みながら、ゆったりとした日常生活をお過ごしいただけます。季節を感じられる行事もたくさん開催しています。

4階庭園

天気の良い日には、4階の庭園でリハビリテーションに取り組むことができます。
四季折々の草花が利用者さまを和ませてくれます。

問い合わせ先

〒569-1116　高槻市白梅町5-7
地域医療部　TEL:072-683-0206　FAX:072-683-1282
病院ホームページ：　https://www.aijinkai.or.jp/reha/

交通案内

＜最寄り公共交通機関＞
①_JR高槻駅より徒歩7分　②_阪急高槻市駅より徒歩12分

ナスバ病床受託病院のご紹介

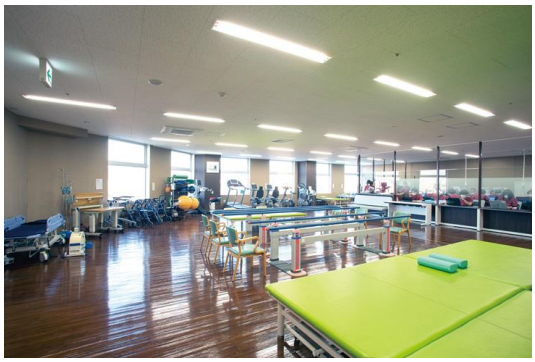
社会医療法人 雪の聖母会
聖マリアヘルスケアセンター

病院データ

開院年月日：2014年10月1日
病床数：198床（回復期リハビリテーション病棟：150床、療養病棟：48床）
診療科目：内科、消化器内科、腎臓内科、透析内科、リハビリテーション科

○ 開院10年目を迎えます。

聖マリアヘルスケアセンターは、2014年10月に開院した、リハビリテーションを中心とした療養病院です。



○ 担当医師

NASVA委託病床では、日本リハビリテーション医学会指導医、リハビリテーション科専門医の認定を持つ医師が担当します。

○ 当院の特徴

① 当院は、公益財団法人　日本医療機能評価機構の病院機能評価認定施設です。
② ご入院中に必要とされる診療については、同一法人の聖マリア病院（42診療科）と連携した外来診療体制を構築しています。
③ 西鉄聖マリア病院前駅すぐの駅に近い病院です。
④ 独立行政法人労働者健康安全機構　福岡産業保健総合支援センターが運営する、治療と仕事の両立支援出張窓口を開設しています。

問い合わせ先

〒830-0047　福岡県久留米市津福本町448-5
地域医療介護連携室　小村　あて　　TEL：0942－35－5522
病院ホームページ➡ https://www.st-mary-health.jp

交通案内

＜最寄り公共交通機関＞
西鉄 聖マリア病院前駅より徒歩1分

ナスバ病床受託病院のご紹介

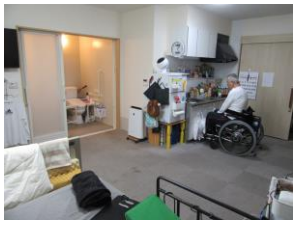
医療法人かぶとやま会
久留米リハビリテーション病院
Kurume Rehabilitation Hospital

病院データ

病床数125床(一般:14、地域包括ケア:22、回復期Ⅰ:52、医療療養病床:37)【2024年4月1日現在】 二次救急施設
日本医療機能評価機構認定施設(一般病院1、高度専門リハビリテーション回復期Ver.1、慢性期病院)
久留米大学医学部教育関連診療科、久留米大学整形外科共同研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設

リハビリテーション

完全チーム医療体制です。病棟担当医、看護師、介護士、療法士のチームをリハビリテーション科専門医のほか、内科、整形外科、泌尿器科をはじめとした各専門医、薬剤師、栄養士等が連携して全身管理とリハビリテーションにかかわります。



住所を問わず、原則として全員が在宅復帰を目指します。直接自宅退院が困難な場合は、病院に隣接したリハビリテーションシェアハウスで家族とともに生活をすることが可能です。

相談員(MSW)、ピアサポータ(頚髄損傷スタッフ)、顧問弁護士が連携して相談支援を行います。

2008年1月から2021年10月までに亜急性期および維持期の脊髄損傷患者をのべ119件(うち93件は頚髄損傷患者)を受け入れ、全身管理とリハビリテーション、リフト/Iot/Botの活用、住宅改修等を含む環境整備により、79.8%を社会(自宅)復帰させてきた実績があります。【交通事故、労働災害、転倒、転落・・・患者が知っておくべき脊髄損傷リハビリ　著者:柴田元　発売元:(株)幻冬舎】

問い合わせ先

〒839-0827　福岡県久留米市山本町豊田1887
地域連携室　あて　　TEL:0942−43−8033　　FAX:0942−45−0388
病院ホームページ➡　https:www.kurume-reha.or.jp

交通案内

＜最寄り公共交通機関＞
西鉄バス「柳坂」停留所より徒歩6分

当院の取り組み
YouTube　⇒

よくある質問

くわしくは次のページから

よくある質問

① どのような障害の場合に入院できますか。

- 自動車事故により脊髄を損傷し、急性期病院による治療が完了している等、リハビリテーションによる治療が可能な状態であって、日常生活自立度が脊髄障害自立度評価法（SCIM）による点数で20点以下であり、治療及び常時の介護が必要である方が入院できます。
- 入院の承認は、入院審査委員会の結果を踏まえ、治療及び介護の必要性や日常生活動作改善の可能性などを総合的に判断して行われます。

② SCIMの20点とは・・・

- 完全に合致するものではありませんが、SCIMの20点以下というのは、個人差があるものの、概ね脊髄を損傷し以下のような生活全般において全介助が必要な方が該当する。
  - ✓ 自力移動が不可能である
  - ✓ 自力摂食が不可能である
  - ✓ 屎（し）尿失禁状態にある

  等
- SCIMによる評価につきましては、専門家の判断が必要であるため、各病院にお尋ねください。

③ 後遺障害認定前でもナスバ病床に入院できますか。

- 事故後の経過期間に関する制約は設けていません。急性期治療が終わり、かつ、入院要件を満たしているとして入院の承認が下りれば、後遺障害認定前でも入院できます。

よくある質問

④ どれくらいの期間入院できますか。

- 最大の入院期間は、概ね2年間です。
- ただし、2年間必ず入院できると保障するわけではありません。症状の改善が治療計画等に定める目標に達した場合などには、退院を勧奨することがあります。
- 退院時には、各病院のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が、退院先病院や施設の相談・調整をしたり、在宅介護時の福祉制度利用などのサポートを行います。

⑤ 自損事故の患者、有責事故を起こした患者、自賠責無保険車で事故を起こした患者でも入院できますか。

- 自動車(原動機付自転車を含みます)が関係する交通事故が原因であれば入院可能です。

⑥ 海外での交通事故も入院対象となりますか。

- 本事業は、国内の交通事故に係る自動車損害賠償保障制度の枠組みの中での事業なので、海外での交通事故の被害者については入院対象外です。

⑦ 複数のナスバ病床受託病院に対して同時に入院申し込みすることはできるのでしょうか。

- 複数のナスバ病床受託病院への同時入院申込みは、ご遠慮いただいています。入院申込みをする際には、入院を希望するナスバ病床受託病院を1ヶ所に決めていただき申込みをお願いします。

⑧ 病院見学は可能ですか。

- 見学は可能ですので、希望するナスバ病床受託病院へ問い合わせください。

よくある質問

⑨ 現住所地に近いナスバ病床受託病院へ申込まなければならないのでしょうか。

- 現住所地に限らず、全国4ヶ所のナスバ病床受託病院の中から、希望するナスバ病床受託病院1ヶ所への申込みが可能です。

⑩ ベッドに空きはありますか。

- 詳細については、入院を希望するナスバ病床受託病院へお問い合わせください。

⑪ 健康保険・労災保険は使えますか。

- 通常の医療機関と同様の取扱いであり、健康保険や労災保険を使うこともできます。

改訂履歴

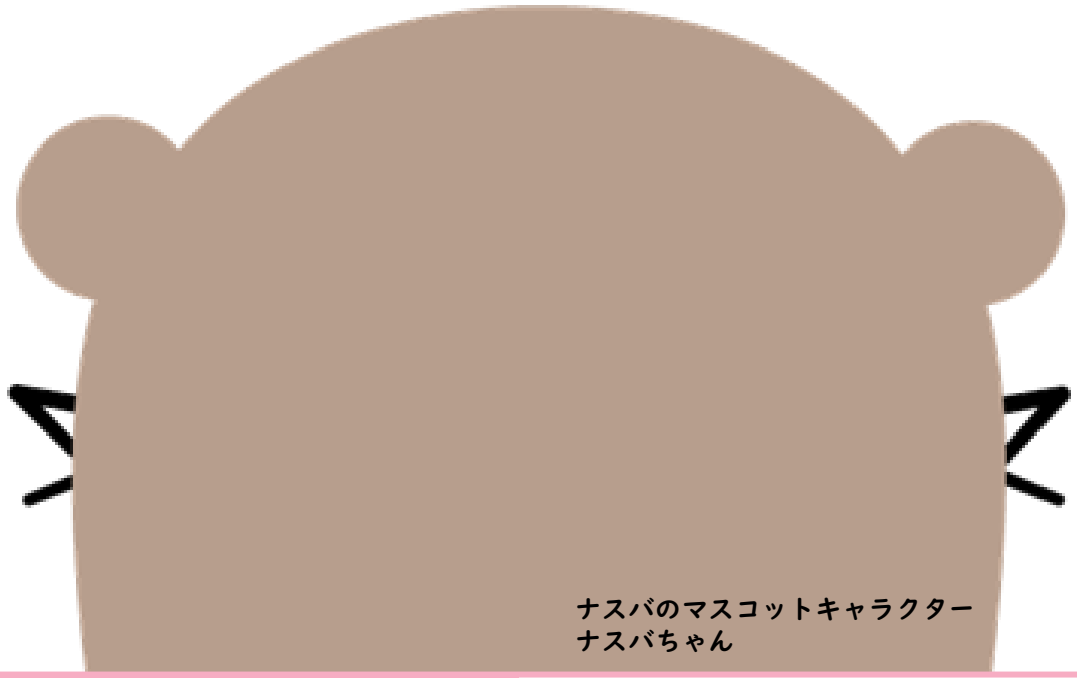
初　版:20240326	
第2版:20240603	＜3病院＞から＜4病院＞へ修正(久留米リハビリテーション病院追加
第3版:20240801	Q&Aを追記

MEMO

NASVA
ナスバ

めざすのは、自動車事故ゼロの社会。

～被害に遭われた方やご家族に寄り添い、支え続けます～



ナスバのマスコットキャラクター
ナスバちゃん

事業について問い合わせ先

独立行政法人自動車事故対策機構（ナスバ）
本部被害者援護部　療護センター企画グループ

● 住所 ： 〒130-0013
東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階

● TEL ： 03-5608-7640

● FAX ： 03-5608-8610

● ナスバホームページ ： https://www.nasva.go.jp/

●キーワード検索 ナスバ

Facebook

X（旧Twitter）

初版:20240326 改定:20240801